

別紙・裏

★予防接種を受ける前

- * 受ける予定の予防接種についての通知を読んで、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは会場で接種を受ける前に質問しましょう。
- * 受ける前日は入浴(又はシャワー)をさせ、体を清潔にしましょう。
- * 当日は朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認してください。
- * 清潔な着衣をつけさせましょう。
- * 接種を受けるお子さんの日ごろの状態をよく知っている保護者がつれていきましょう。
- * 母子健康手帳及び予診票(記入してください)を持参してください。

★予防接種を受けた後

- * 受けた後30分くらいはその場で安静にさせて、お子さんの様子を見ていてください。
- * 受けた日は、激しい運動を避けてください。
- * 接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日から入浴しても問題ありませんが、接種部位をこすらないでください。
- * 生ワクチンでは4週間、不活化ワクチンでは1週間、副反応の出現に注意してください。
- * 受けたあと異常と思われる症状があったときは、すみやかに医師の診察を受けてください。

★このような場合は予防接種を受けないでください

- * 1カ月以内にはしか・三日はしか・おたふくかぜ・水ぼうそうにかかった人。
- * 1カ月以内にBCG、麻しん・風しん、おたふくかぜなどの生ワクチンの予防接種を受けた人。
- * 37.5℃以上の熱のある人。
- * 急性の病気で治療を受けている人。
- * ワクチンに含まれる成分で強いアレルギー症状を起こしたことがある人。

★このような場合は医師に相談しましょう

- * 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液の病気および発育障害などのある人。
- * 過去に予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発しん、じんましんなどアレルギーを思わす異常が見られた人。
- * 過去にけいれん(ひきつけ)をおこしたことがある人。
- * 過去に免疫不全の診断を受けた人および近親者に先天性免疫不全症の人がいる人。
- * 接種しようとするワクチンの成分に対して、アレルギーを起こす恐れのある人。
- * 6カ月以内にガンマグロブリンの接種を受けた人。(予防接種の効果が十分に出ないことがあります)

予防接種に関するお問い合わせ・連絡先

鷹栖町健康福祉課子育て支援係 電話87-2112 内線502番
(サンホールはびねす内)

予防接種を受けるときの注意

★予防接種の副反応について

* ワクチンの副反応は下記のような、通常見られる副反応がありますが、接種後高熱やけいれん等の症状が現れたときには直ちに医師の診察を受け、鷹栖町健康福祉課子育て支援係に連絡をください。

種類	通常見られる副反応
ポリオ (不活化ワクチン)	接種したところを中心に、赤く腫れたり、痛み、しこりなどを認めることがあります。全身反応として発熱等を認めることがあります。
三種・四種・五種混合 (不活化ワクチン)	接種したところを中心に、赤く腫れたり、痛み、しこりなどを認めることがあります。2～3日で消失します。ときには接種後数日してから赤く腫れることがあります。全身反応として発熱等を認めることがあります。2～3日で消失します。2回目以降で局所反応が強くあらわれることがあります。
麻しん 風しん 混合 (生ワクチン)	接種後4～14日に発現のピークがある発熱、発疹を生じることがあります。なお、接種直後から数日中に過敏症状と思われる発熱、発疹、かゆみなどが生じることがありますが1～3日で消失します。
BCG (生ワクチン)	接種後、1カ月以内に針痕に相当して赤いポツポツができ、一部に小さくうみを持ったりしますが、その後かさぶたになり2～3カ月で小さなあとになります。まれに脇の下のリンパ節が腫れることがありますが2～3カ月で自然に消えます。
ヒブ (不活化ワクチン)	接種したところを中心に、赤く腫れたり、しこり、痛みなどが生じることがありますが、おおむね軽度で、自然に回復します(三種混合と同程度くらい)。
小児用肺炎球菌 (不活化ワクチン)	接種したところを中心に、赤く腫れたり、しこりなどが生じることがありますが、おおむね軽度で、自然に回復します。全身反応として、発熱、易刺激性(刺激に敏感に反応する状態)、傾眠状態になることがあります。
B型肝炎 (不活化ワクチン)	接種したところを中心に、赤く腫れたり、痛み、しこりなどを認めることがあります。全身反応として熱が出たり、刺激に反応しやすくなったりすることがあります。極めてまれに、アナフィラキシー(*急なアレルギーでじんましんが出たり、呼吸が苦しくなる)、急性脳脊髄炎などを起こすことがあります。
日本脳炎 (不活化ワクチン)	接種したところが赤く腫れたり、接種後に熱や咳、鼻水が出たりします。極めてまれに、アナフィラキシー(上記*参照)、急性脳脊髄炎、血小板減少性紫斑病等を起こすことがあります。年長児は、接種直後の気分不良、血圧低下、失神等の発生に注意が必要です。
水痘 (生ワクチン)	全身症状として発熱、発疹がみられることがありますが、通常、数日中に消失します。また接種したところを中心に赤く腫れたり、しこりなどが生じることがありますが、おおむね軽度で、自然に回復します。
ロタウイルス (経口生ワクチン)	下痢、易刺激性(刺激に敏感に反応する状態)になることがあります。極めてまれに、初回接種時等に腸重積症を起こすことが報告されています。不機嫌になる、嘔吐を繰り返す、ぐったりして顔色が悪くなる、血便が出る、間隔をあけて泣くのを繰り返すなどの症状がある場合は、接種医療機関(時間外の場合は救急外来)で診察を受けましょう。
子宮頸がん (HPV) (不活化ワクチン)	注射した部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状が起こることがあります。筋肉注射という方法の注射で、インフルエンザの予防接種等と比べて、痛みが強いと感じる方もいます。まれですが、アナフィラキシー(上記*参照)や神経系の症状などの重い症状が起こることがあります。詳細は、対象者へ個別通知に同封しているご案内を参照ください。

別紙・表

R7年度 定期予防接種の対象年齢と実施日程(鷹栖町)

R7.4月～

種類	対象		接種方法と受ける回数	実施日程	実施場所	次の予防接種までの間隔	
	標準的な接種年齢	受けることができる年齢					
ロタウイルス感染症 (経口生ワクチン)	初回接種は、生後2月～生後14週6日まで		ロタリックス®：生後6～24週まで ロタテック®：生後6～32週まで	ロタリックス®：27日以上の間隔を置いて2回経口接種 ロタテック®：27日以上の間隔を置いて3回経口接種	年間を通して受けられます	実施医療機関参照 ※BCGは●印の医療機関	
結核 (BCG) (注射生ワクチン)	生後5～8月末満		生後1歳未満	経皮接種 1回			
ヒブ (インフルエンザ菌 b型)感染症 (不活化ワクチン)	初回	生後2～7月末満に初回接種を開始	生後2～60月 (5歳) 未満	2～7月末満に開始			27～56日の間隔で3回
				7～12月末満に開始			生後12月末満に27日以上の間隔で 2回 (2回目が12月を超えた場合は行わない。追加接種は可能。)
				12～60月末満に開始			1回
追加	初回終了後、7～13月を置いて接種		初回を12月末満に開始	初回終了後、7～13月の間隔を置いて1回 7～12月に開始した児：2回目が12月を超えて行わなかった場合、 初回接種後27日以上の間隔を置いて1回			
小児の肺炎球菌感染症 (不活化ワクチン)	初回	生後2～7月末満に初回接種を開始	生後2～60月 (5歳) 未満	2～7月末満に開始			27日以上の間隔で3回 (2回・3回は24月未満。2回目が12月を超えた場合3回目は行わない。追加接種は可能。)
				7～12月末満に開始			27日以上の間隔で2回 (2回目が24月を超えた場合は行わない。追加接種は可能。)
				12～24月末満に開始			60日以上の間隔で2回
				24～60月末満に開始			1回
	追加	生後12～15月		初回が7～12月末満に開始			生後12月以降に、初回終了後60日以上おいて1回
B型肝炎 (不活化ワクチン)	生後2～9月末満		生後1歳未満	27日以上の間隔を置いて2回接種した後、第1回目から139日以上の間隔を置いて1回接種 (1回目の接種から20週後の同じ曜日から3回目の接種可能)			
ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・ヒブ感染症 (五種混合) (不活化ワクチン)	1期初回	生後2～7月末満	生後2～90月 (7歳6カ月) 未満	20～56日の間隔で3回			
	1期追加	1期初回 (3回) 終了後6～18月を置いて接種		1期初回(3回)終了後6月以上の間隔を置いて 1回			
ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ(四種混合) (不活化ワクチン)	1期初回	生後2～12月末満	生後2～90月 (7歳6カ月) 未満	20～56日の間隔で3回			
	1期追加	1期初回 (3回) 終了後12～18月を置いて接種		1期初回(3回)終了後6月以上の間隔を置いて 1回			
ジフテリア・破傷風 (二種混合) (不活化ワクチン)	2期	小学6年生 ※予診票は小学6年生の年度初めに郵送します。	11歳以上13歳未満	1回			
日本脳炎 (不活化ワクチン)	1期	3～4歳未満	生後6月～90月 (7歳6カ月) 未満	6～28日以上の間隔で2回			
	1期追加	4～5歳未満		1期2回目からおおむね1年(6月以上)おいて1回			
	2期	9～10歳未満		9歳以上13歳未満	1期追加から、おおむね5年おいて1回		
日本脳炎 (不活化ワクチン) (特例制度)	1期 2期	平成17年4月2日～平成19年4月1日生まれのうち、20歳未満の方。 1期を含め定期接種を受けられます		・6日以上(標準的には6～28日)おいて2回、2回目から6月(標準的には1年)おいて3回目接種 ・4回目は3回目から6日以上(標準的には5年以上)あける			
麻疹 風疹 (注射生ワクチン)	1期	生後12～24月末満		1回			
	2期	小学校就学前1年間にある児(5～7歳未満)		1回			
水痘 (注射生ワクチン)	初回	生後12～15月 【1回目→2回目】6～12月までの間隔をおく	生後12～36月末満	2回 2回目は初回接種から3月以上(標準は6～12月までの間隔)を置いて接種	年間を通して受けられます		
子宮頸がん (HPV) (不活化ワクチン)	中学1年生の女性 ※予診票は小学6年生の年度始めに郵送します		12歳(小6)～16歳(高1)の女性	2価：1月以上の間隔を置いて2回、1回目の注射から6月以上の間隔を置いて1回 又は1回目の注射から5月以上かつ2回目の注射から2年半以上の間隔を置いて1回 4価、9価(15歳以上)： 2月以上の間隔を置いて2回、1回目の注射から6月以上の間隔を置いて1回 又は1月以上の間隔を置いて2回、2回目の注射から3月以上の間隔を置いて1回 9価(15歳未満)： 1回目の注射から6月の間隔を置いて1回、又は5月以上の間隔を置いて1回 ※過去に2(4)価を接種した者で、2回目以降9価接種を希望する場合は医師とご相談ください。	12歳となる日の属する年度の4月1日～16歳となる日の属する年度の3月31日まで		
子宮頸がん (HPV) (特例制度)	平成9年4月2日～平成21年4月1日生まれの女性のうち、令和7年3月31日までにHPVワクチンを1回以上接種している方				対象の方は令和8年3月31日まで接種可能		

注射生ワクチン
↓
注射生ワクチン
27日以上

その他基本的に制限はありません

ただし、同一のワクチンを複数回接種する場合は、定められた接種間隔に従ってください

対象の方へ個別通知いたします